

東北大学史料館 創立 50 周年記念

●講演会・パネルディスカッション

「大学アーカイブズ」と これからの大学

基調講演 **寺崎 昌男氏** (東京大学名誉教授・立教学院本部調査役)

パネルディスカッション

寺崎昌男／西山伸(京都大学大学文書館)／森本祥子(東京大学史史料室)
永田英明(東北大学史料館)

平成25年9月29日(日) 13:30~17:00

会場 **東北大学金属材料研究所 講堂**

(東北大学片平キャンパス内)

仙台市営バス 青葉通一番町バス停下車徒歩10分／東北大正門前バス停下車徒歩5分

◆参加申込方法

※名前・所属・連絡先および「9/29講演会参加申込」と明記のうえ、Eメール、FAX、往復ハガキのいずれかで、9/26(木)までにお申し込み下さい(電話での受付はいたしません)。

なお当日申込も受け付けますが、会場の都合上、事前にお申し込みいただいた方を優先させていただきます。

申込先 東北大学史料館

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

FAX 022-217-4998 MAIL desk-tua@library.tohoku.ac.jp

東北大学史料館展示室 9月27日(金)より一般公開再開!

●関連企画展

東北大学と「大学アーカイブズ」の50年

平成25年9月27日(金)~10月13日(日) / 11月12日(火)~12月27日(金)

会場 東北大学史料館企画展示室

開館時間 10:00~17:00 (閉館30分前までにご入館ください)

●同時開催 企画展「女子学生の誕生-100年前の挑戦」

常設展「歴史のなかの東北大学」 / 「魯迅と東北大学」

入場無料



「大学アーカイブズ」とこれからの大学

東北大学史料館は、その前身である東北大学記念資料室の発足から今年で50周年となりました。

東北大学記念資料室はわが国初の大学アーカイブズとして産声をあげましたが、特に1990年代後半以降、大学の歴史公文書や教職員・OB等の寄贈資料を収集・管理し公開するアーカイブズ施設が増加しております。多くの大学が、自らの個性を確認・検証し、また社会に対する情報発信を進めていくうえで、「大学アーカイブズ」の持つ可能性に注目しているといえるでしょう。

同時に、いわゆる公文書管理法において国立大学の公文書が国民の共有財産として明確に位置付けられたように、個別大学の枠を超えた、社会の記憶装置の一環としての大学アーカイブズの役割もまた、より明確になってきています。

半世紀を経て広がりを見せてきた日本の大学アーカイブズが、どのような道をたどり、いまだどのような課題を抱えているのか。わが国大学史研究の第一人者として大学アーカイブズの必要性をいち早く訴えられてきた寺崎昌男先生にご講演いただくと共に、国立大学アーカイブズの現場に立つ3人のパネリストとともに、これからの大学アーカイブズのありかたについて探ります。

東北大学史料館展示室が9月27日(金)よりリニューアルオープン! 9月28日(土)～11月10日(日)は土曜・日曜日も公開します!!

以下の展示会・イベントを開催する予定です(いずれも史料館展示室にて)

企画展

◆東北大学史料館創立50周年記念

東北大学と「大学アーカイブズ」の50年 9/27(金)～10/13(日)、11/12(火)～12/27(金)

東北大学史料館が日本の大学アーカイブズと共にたどった半世紀のあゆみを紹介します。

◆東北大学女子学生入学100周年記念

女子学生の誕生—100年前の挑戦 9/27(金)～12/27(金)

100年前にわが国初の女性大学生として東北帝国大学に入学した、黒田チカラ3人の女性の挑戦を紹介します。

◆日本思想史学会共催展示

むらおかつねつぐ

村岡典嗣展 10/17(金)～11/10(日)

「日本思想史」研究の開拓者として知られる学者の知の足跡を、ナマの資料をもとに紹介。

常設展

歴史のなかの東北大学

東北大学の一世紀のあゆみ、歴史のなかに住きた研究者や学生たちの姿を紹介。

魯迅と東北大学—歴史のなかの留学生—

明治期の仙台に学んだ若き日の魯迅が、そこで作家を志すまでの出会いと心の動き。

●東北大学附置研究所一般公開

片平まつり2013 10/12(土)～13(日) 東北大学片平キャンパス

史料館テーマ「タイムマシンに乗ってみたい?—アインシュタインにも会えるよ—」

